

新ならやま投句箱

俳句

ふれうごくあわき紅さす花水木 小島 武雄

山桜マツタリ見ている昼休み 羽尻 嵩

初筍ほのぼの市の賑わへり 藤原 勲

山笑うあの人逝きて七歳ななとせや 八木 順一

藤棚に揺れる長房濃むらさき 中井 弘

花の香に居並ぶさくらしべもさんざめき 八木 健彦

音もなく桜さくらしべ降る夕べかな 山本 美智子

里山に魔除けの鍾馗揃い踏み 鈴木 末一

花筏流れ流れて何処までも 福田 美伸

床の間は義父ナチのナチ鼻肩藤娘 阿部 和生

ナメゴ谷桜さくらしべ降る龍の道 豊田 浩代

花水木よそじの老木花少し 坂東 久平

ナメゴ谷桜藤花絵羽模様 森 和子

深緑の間に見える山桜 永井 幸次



新ならやま投句箱への投句有難うございます。今後とも宜しくお願い致します。

川柳

チャット GPT AIの奴隷世も末や トラ吉

コロナ慣れ視線集めるノーマスク ぜんさん

優等生近頃チラシに出番なく 玉ちゃん

短歌

十六夜の西に傾く月を見て 内河 洋文

時空を超えて業平忍ぶ

野に競うふぐりに踊り子種漬花

私も見てねと鴉あじやく雀野豌豆 千載 輝重

藤の花蜜を求めて群れる蜂 戸田 博子

フジのハチミツ何故ないのかな

ナメゴ谷誰が植えたか山桜 富江 文雄

竜の如くに山駆け昇る

嘆くまい世俗の浮沈忍ぶれば 谷川 雅邦

いで春色に華やぎ香る

次号締め切り 7月20日 投稿先 田中善英